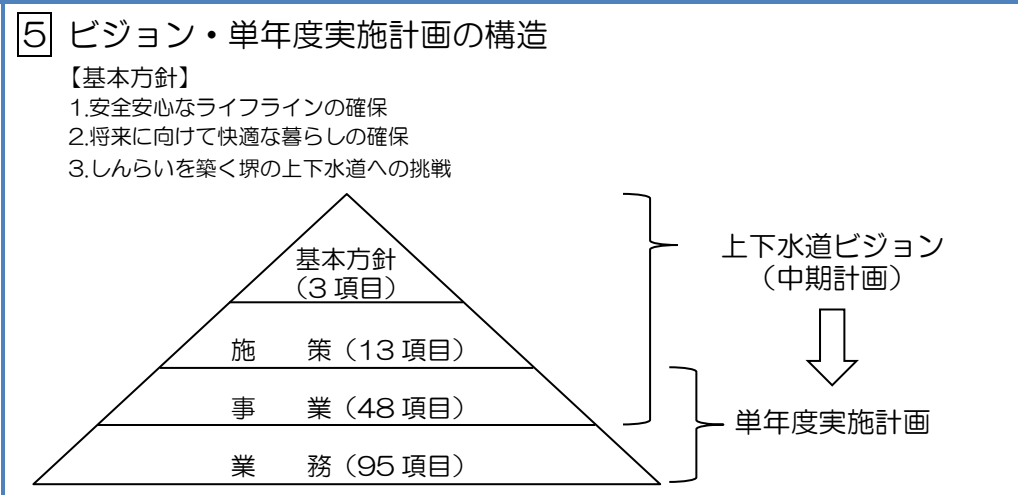
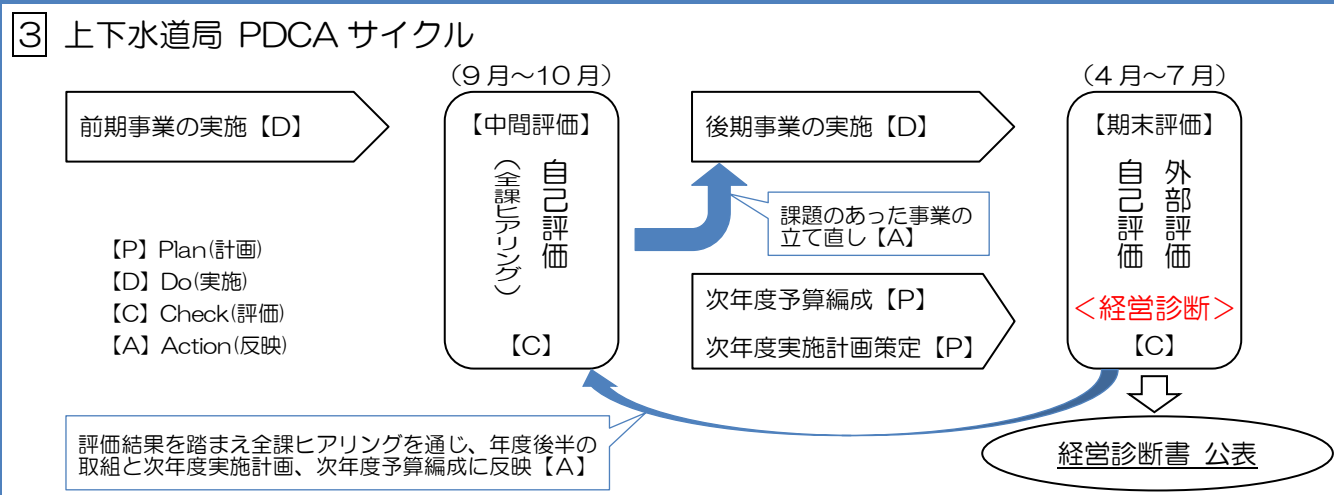
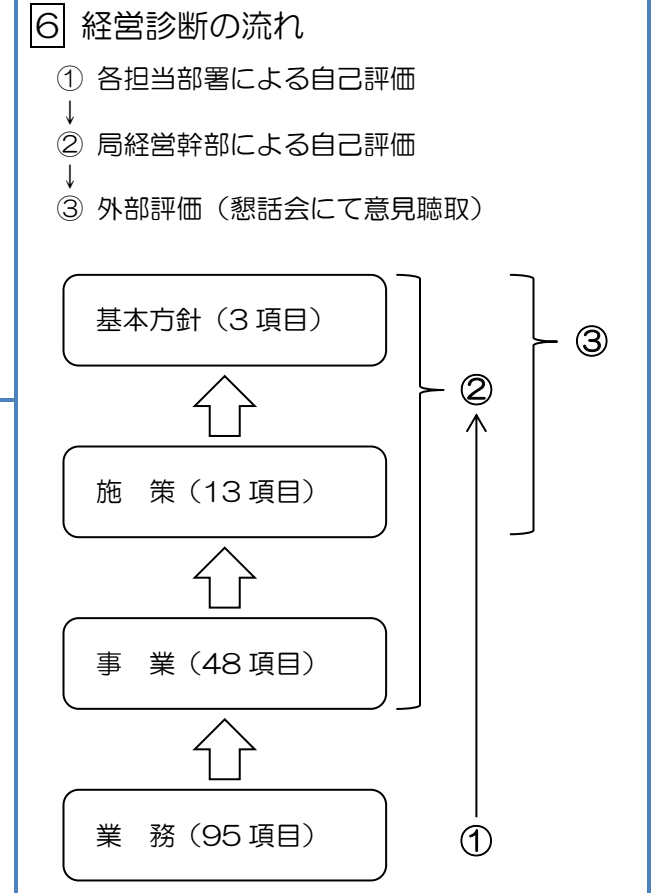
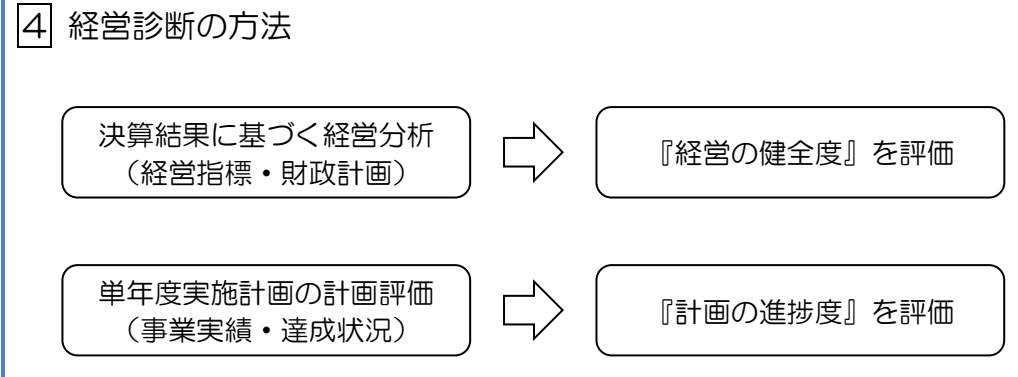


# 平成29年度 堺市上下水道事業 経営診断書（平成28年度事業）【概要版】

## <経営診断の概要>

- 1 経営診断の目的**  
 上下水道局は上下水道ビジョンの実現に向け、単年度実施計画のもと事業を行っています。この単年度実施計画に対し、上下水道局はPDCAサイクルによるマネジメントを導入しており、経営診断はPDCAサイクルのCheck（評価）として、自己評価と外部評価（懇話会）により実施しています。
- 2 診断結果の活用**  
 ・PDCAサイクルとして診断結果（Check）を、年度後半の取組と次年度の単年度実施計画に反映（Action）します。  
 ・診断結果を経営診断書にとりまとめ、上下水道局HPにて公表し、市民の方の水道・下水道事業に対する理解と経営の透明性を高めます。



## 診断結果

### <経営分析>

**■水道事業**

**①収益性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
経常収支比率	%	↑	111.5	109.1	115.8

**②安定性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
自己資本構成比率	%	↑	70.2	70.0	65.3

**③効率性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
職員一人当たり給水量	千m <sup>3</sup> /人	↑	528	519	352

**④料金**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
給水原価	円/m <sup>3</sup>	↓	147.9	150.5	154.7

**【懇話会意見】**  
 ・給水量の増加などにより、昨年度に比べ収益性の向上が見られる。  
 ・長期的にも企業債にかかる各指標が改善し、安定性も向上している。  
 ・大都市の比較においても経営状況は、概ね中上位の水準にある。  
 ・特に投資に対する財源のバランスが良好である。  
 ・引き続き、効率的な事業運営に取り組み、良好な水準を維持していただきたい。

**■下水道事業**

**①収益性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
経常収支比率	%	↑	107.3	103.5	107.0

**②安定性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
自己資本構成比率	%	↑	46.7	46.1	53.4

**③効率性**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
職員一人当たり処理人口	人	↑	5,292	5,109	-

**④料金**

	単位	望ましい方向	28年度	27年度	大都市平均(H27)
汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	↓	161.3	171.4	130.4

**【懇話会意見】**  
 ・大都市と比較した指標のほぼ全てで、下位の水準にある。  
 ・経年変化を見ると、ほぼすべての指標で状況が改善してきている。  
 ・昨年度に比べて使用料収入の増加により、経常収支比率、総資産利益率が改善し、大都市平均並みの水準となっている。  
 ・より一層経営改善に取り組むことで、これまでの経営の回復基調を維持していただきたい。

### <計画評価>

**1.安全安心なライフラインの確保**

施策名	達成状況	今後の方向性
(1) 安全で安心な水道水	A	持続
(2) 震災に強いまちの実現	B	持続
(3) 雨に強いまちの実現	A	持続
(4) 危機管理対策の推進	A	持続

**2.将来に向けて快適な暮らしの確保**

施策名	達成状況	今後の方向性
(1) 里道・私道の汚水整備（衛生的に暮らせるまちの実現）	C	改善
(2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現（施設の維持管理と更新）	A	持続
(3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（持続的な企業経営）	B	持続
(4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現（持続的な企業経営）	A	持続
(5) 潤いと活力のあるまちの実現	A	持続
(6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現（環境負荷の低減）	B	持続

**3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦**

施策名	達成状況	今後の方向性
(1) お客さまとのパートナーシップの形成	A	持続
(2) 人材育成の充実・運営体制の強化	S	持続
(3) 先進的な取組への挑戦	B	持続

**【懇話会意見】**

**1.安全安心なライフラインの確保**  
 ・ライフラインの安全性や安心感を高めるうえで強化すべき取組みが推進された。  
 ・その他の事業についても概ね計画どおりに事業が実施されたことから、「安全安心なライフラインの確保」は着実に進んでいると評価できる。

**2.将来に向けて快適な暮らしの確保**  
 ・生活環境の保全や長期的な事業経営にかかる取組みが推進された。  
 ・その他の事業についても概ね計画どおりに事業が実施されたことから、一部に課題を残すものの、「将来に向けて快適な暮らしの確保」については、ほぼ着実に進んでいると評価できる。

**3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦**  
 ・一部は計画を超えて職員の育成にかかる取組みが推進された。  
 ・その他の事業についても概ね計画どおりに事業が実施されたことから、「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」は積極的に取組まれていると評価できる。

凡例	
達成状況	今後の方向性
S：計画を超えて達成した	拡充：施策の規模の拡大や、達成時期の前倒しをする
A：計画を達成した	持続：施策の進捗に滞りが無く、取組を持続する
B：計画を概ね達成した	改善：施策の進捗に課題があり、取組を改善する
C：計画を達成しなかった	縮小：施策の規模の縮減や、達成時期の延期をする